

第90回 みんなで作る音楽会 案内

日時：8月6日 水曜日 13:15から16:00

場所：公民館114室 7857

ミュージカル「ボニー&クライド」 パイプオルガン

今回は、ミュージカル鑑賞です。ドラマの展開がスピーディで、わかりやすい。また、役柄は異なるがそれぞれのおかれた立場に共感できる歌の内容になっている。アメリカの当時の時代背景が、彼らを作ったのだ。観客の熱狂ぶりに吃驚する。また、先日の山田和樹ベルリンフィルでも使われたパイプオルガンについて勉強します。

1. ミュージカル「ボニー&クライド」

13:15-15:15

これは、1930年代にアメリカ中西部で強盗や殺人を繰り返した実在のギャングカップル、クライド・バロウとボニー・パーカーを題材にしたミュージカル。

2022年1月にイギリス・ロンドンのシアター・ロイヤル・ドゥルリーレンで収録された公演。

音楽を手がけたのはフランク・ワイルドホーン。

出演者はボニー役のフランシス・メイリ・マッキャン、クライド役のジェレミー・ジョーダン。ほか



あらすじ

舞台は1930年代、世界恐慌下のアメリカ、テキサス。

映画スターを夢みるボニー・パーカーは、場末のカフェで退屈なウェイトレスとして働く毎日。そこにやってきたのが脱獄したばかりの男クライド・バロウ。時代の暗い閉塞感から抜け出て、スポットライトをあびたいと願っていた二人は、運命の出会いを果たし恋に落ちる。

クライドと共に脱獄した兄のバックは、妻ブランチが働く美容室に戻ったが、兄弟の行方を探すシュミット保安官らが店を訪れて恫喝する。敬虔なクリスチャンであるブランチはバックに刑務所に戻るよう説得、過去を清算するためにバックは刑期を全うすることを決意する。

一方、クライドは強盗を繰り返し、再び刑務所に送られてしまう。それでもクライドを愛し続けるボニーは、幼馴染の保安官テッドや母エマの反対を押し切り、足繫く面会に通い続けた。クライドはボニーに拳銃を持ち込ませ、脱獄に成功する。

街を飛び出し、車を盗み、銀行強盗を繰り返す、前代未聞のギャング・カップル「ボニー&クライド」の誕生に、大衆はやがて彼らを英雄視してゆくが…

2. 休憩

15:15-15:30

3. スター・ウォーズで楽しむ！パイプオルガンの音楽会

15:30-15:55

「May the Force be with you(フォースと共にあらんことを)」と May the 4th(5月4日)のごろ合わせが起源の5月4日はスター・ウォーズの日。

パイプオルガンで「スター・ウォーズ」の代表曲を演奏！
パイプオルガンの音の秘密をクラシックの名曲で解説。

演奏：石丸由佳（パイプオルガン）



- ① 映画『スター・ウォーズ』「メインタイトル」より Short ver. 作曲：J. ウィリアムズ
- ② トーク中実演1：「トッカータとフーガ 二短調」より 作曲：J.S.バッハ
- ③ トーク中実演2：「主よ、人の望みの喜びよ」より
- ④ トーク中実演3：『修道院のためのミサ曲』より「グローリア：トランペットをバスで」より
- ⑤ トーク中実演4：『主の降誕』より「イエスは苦しみを受け入れたもう」より
作曲：O. メシアン
- ⑥ トーク中実演5：「帝国のマーチ（ダース・ベイダーのテーマ）」より
作曲：J. ウィリアムズ
- ⑦ 映画『スター・ウォーズ』「メインタイトル」より Full ver.
作曲：J. ウィリアムズ

以上